

日時：2014 年 7 月 6 日（日） 13:40-14:20

場所：東京コンベンションホール 大ホール

議長：伊藤哲郎（麻布大学）

議題：

## 【報告事項】

1. 事業報告として下記を杉山副会長が報告した。

1) 会員数（2014 年 3 月 31 日現在）

正会員：2133 名 準会員：17 名 名誉会員：1 名 会員合計：2151 名 賛助会員：13 社

2) 第 9・10 回学会報告

第 9 回学会（於麻布大学）

正会員： 519 名 準会員： 6 名 非会員： 33 名 学生： 45 名

講師他： 57 名 関係者： 36 名 参加者合計： 696 名 運営スタッフ除く

第 10 回学会（於大阪・ホテルニューオータニ大阪）

正会員： 416 名 準会員： 6 名 非会員： 35 名 学生： 2 名

講師他： 60 名 関係者： 27 名 参加者合計： 546 名 運営スタッフ除く

2. 各委員会・部会報告

1) 学会雑誌編集委員会：藤田委員長

1-1. 学会雑誌 Vol.5 No.1 が 7 月 2 日に J-Stage に掲載された。

1-2. 2014 年内にもう一号発行を予定。現在、論文の査読が 3 本進んでいる。

1-3. HP に新規で FAQ を追加し、論文の投稿を促す意味も含めて、論文投稿から掲載までの流れが把握できるように掲載する。

1-4. 投稿規程の一部変更についてこの後、審議頂きたい。

2) 認定医認定委員会：藤田委員長に代わり杉山副会長が報告した。

2-1. 7 月学会時に行っていた認定医試験 2 種、1 種一次試験は、1 種二次と合同で 10 月 19 日に実施する。会場は会議室を借りて新宿・ベルナール（費用約 70 万円）にて開催することをメール会議にて検討した。

2-2. 2015 年度の試験は大学と事前に協議をして使用できるように検討する。

3) WVCS 準備委員会：石田委員長

3-1. 2020 年開催までは数名を本会から VCS に派遣する。2014 年 10 月 9、10、11 日（於セントルイス）は VCS の事務局とのコネクションを持つため、JVCS 学会事務担当者および通訳者が出向く予定。

4) 渉外・広報担当：武信理事

4-1. 他学会への後援（JBVP）を承諾した。

4-2. 公式 Facebook を立ち上げた。

5) その他

5-1. 一般社団法人化

前執行部からの申し送り事項であった。会計事務所にアドバイスを受け、手順やその方法について法律的にも間違いが無い方法で進めていく。その経費に関する予算を組んでいる。

## 【審議事項】

杉山副会長より資料 1 の訂正が伝えられた。（議事録添付の資料 1 はすでに訂正済み）

1) 2013 年度日本獣医がん学会収支決算報告：杉山副会長：資料 1：2013 年度収支決算  
収入では会員増の年会費収入が増え、学会に関しては 2012 年度が 2 回の学会を麻布大学で行った経緯から、学会開催費用の会場費用の支出が抑えられていた。2013 年度の支出の大阪会場費が高んだが、予算内には十分収まっている。繰越金 5700 万の繰越金で引継いだ、2013 年度の収支決算では 6300 万円まで繰越金を伸ばすことができた。

2) 2013 年度日本獣医がん学会：会計監査報告と承認：溝呂木会計監査  
2-1. 会計監査が報告された。

1) および 2) → 承認された。

3) 2014 年度日本獣医がん学会予算案の承認（資料 1：2014 年度予算案）  
3-1. 収入は会員数が順調に伸びを示しているため年会費の増収もあり、約 4100 万円の収入を見込んでいる。支出では学会開催のための新しい会場費を加味して学会開催には 2600 万円の予算を組んでいる。法人化検討と事務に関する費用（約 130 万円）を見込んでいる。また、WVCS 招致のために事務局担当者等 2 名分の渡航費用を予算に組み入れた。WVCS に関しては東京観光財団に助成の申請を行っているが、全て終了後に半額を助成される可能性がある内容に関して、後日精算となるため、それまでは学会が負担することとなる。そのため、助成に関する記載は収入には明記していない。

→承認された。（資料 1：2014 年度予算案）

4) その他

4-1. 学会雑誌編集委員会 藤田委員長（資料 2）

資料 2 に記載した投稿規程の変更について審議頂きたい。

変更の内容は、従来の規程では共著者のすべてのメールアドレスを記載いただくこと、「原著・短報の筆頭著者は本会の会員とする」であることにしていたが、投稿を促す意味でも学生が執筆することや院長が会員で、勤務医が会員ではない場合なども想定できるので、筆頭著者およびコレスポンディングオーサーが会員であれば良いとする規程に変更。また、執筆にあたり投稿規程 13. 「著者負担とする」とある規程も「著者または連絡責任者」と変更することについてご審議頂きたい。

→承認された。

以上。

日本獣医がん学会 2013年度収支決算報告及び2014年度予算案		2013年度補正予算案は収支決算の項目に合わせるため一部項目入れ替え								
収入の部	2014年度予算案		2013年度収支決算		2013年度補正予算案		2012年度収支決算		明細	備考
	金額(円)	明細金額(円)	金額(円)	明細金額(円)	金額(円)	明細金額(円)	金額(円)	明細金額(円)		
当期年会費	¥22,000,000		¥21,570,000		¥21,000,000		¥20,690,000		正会員年会費 準会員年会費 賛助会員年会費	
認定委員会	¥3,700,000	¥3,500,000	¥3,795,500	¥3,575,000	¥3,500,000		¥3,131,500	¥2,025,000	I種受験料・登録料	
								¥270,000	I種一次受験料	
								¥420,000	I種二次受験料・登録料	
								¥145,000	来期受験料	
		¥200,000		¥220,500				¥271,500	手帳(1500円/部)	
学会	¥15,000,000	¥13,000,000	¥14,183,000	¥12,077,000	¥14,000,000		¥13,256,000	¥11,403,000	第9・10回学会参加費	
		¥1,500,000		¥1,501,000				¥1,730,000	展示・広告費	
		¥100,000		¥90,000				¥102,000	要旨販売	
		¥400,000		¥515,000				¥21,000	懇親会	
その他	¥610,000	¥100,000	¥1,178,452	¥110,000	¥1,500,000		¥385,441	¥230,000	当期以外年会費	
		¥10,000		¥11,032				¥9,191	預金利息	
		¥500,000		¥1,057,420				¥146,250	会員証・挟込・印税等(不明含)	
小計	¥41,310,000		¥40,726,952		¥40,000,000		¥37,462,941			
繰越金	¥63,879,021		¥57,547,021		¥57,547,021		¥45,202,610		(前年度)	
総計	¥105,189,021		¥98,273,973		¥97,547,021		¥82,665,551			(a)
支出の部	金額(円)	明細金額(円)	金額(円)	明細金額(円)	金額(円)	明細金額(円)	金額(円)	明細金額(円)	明細	備考
事務人件費	¥3,500,000	¥3,500,000	¥2,821,454	¥2,821,454	¥4,000,000		¥2,678,130	¥2,678,130	委託費(1300円/人)	
荷造運賃発送費	¥1,000,000		¥823,803		¥730,000		¥633,300		宅配・切手・発送代	
会議交際費	¥200,000		¥18,848		¥200,000		¥25,693		会議費	
旅費交通費	¥500,000		¥378,000		¥300,000		¥7,410			
通信費	¥300,000		¥157,920		¥420,000		¥187,552		電話・サーバー代等	
消耗品費	¥840,000		¥469,765		¥840,000		¥106,569		事務用品・雑品費・会員証資材	
備品	¥600,000		¥230,430		¥600,000		¥458,004		パソコン、プリンタ、会計ソフト等	
手数料	¥600,000		¥466,819		¥470,000				銀行および口座振替手数料	振込手数料&ワイドネット
学会開催	¥26,000,000		¥19,290,538		¥22,000,000		¥10,980,648			
	第11回東京コンベンションホール	¥13,000,000	第9回学会麻布	¥6,169,415	第9回学会麻布		第7回麻布	¥5,444,062		
	第12回大阪ニューオータニ	¥13,000,000	第10回大阪ニューオータニ	¥13,121,123	第10回大阪ニューオータニ		第8回麻布	¥5,536,586		
認定委員会	¥3,000,000		¥1,874,470		¥3,000,000		¥2,540,448		認定医関連一式	
Joncol	¥6,000,000		¥5,460,000		¥5,700,000		¥4,955,000		JONCOL1号分(No.15)	1部2500円
学会雑誌	¥2,500,000		¥1,192,633		¥2,500,000		¥1,400,024			編集、編集経費 査読料等
運営費	¥1,000,000		¥915,202		¥930,000	印刷代及びシステム維持	¥819,000			
法人化検討費	¥1,300,000									
WVCS招致費用	¥600,000									
その他	¥500,000		¥295,070		¥2,530,000	HP、JFVSSなど	¥326,752		廃品回収、名刺作成、VCS学会登録費等	
支出合計	¥48,440,000		¥34,394,952		¥44,220,000		¥25,118,530			(b)
次年度繰越金	¥56,749,021		¥63,879,021		¥53,327,021		¥57,547,021			(a)-(b)=(c)
総計	¥105,189,021		¥98,273,973		¥97,547,021		¥82,665,551			(a)



## 投稿規程



1. 「日本獣医がん学会雑誌」の投稿論文は原則として獣医臨床腫瘍学に関する和文または英文論文で、未発表かつ公表予定のないものとし、獣医腫瘍学の臨床と研究の発展に寄与するための内容とする。
2. 原著、短報の投稿者の筆頭著者は本会の会員とする。ただし、依頼論文においてはこの限りではない。
3. 原稿の投稿は、原則としてメールにて行う。
4. 投稿された原稿は審査員で査読し、掲載の可否を決定する。原則として審査終了後に掲載する。掲載されない論文は原則として本人に返還する。査読者は、3か月以内に査読すること。投稿者は3か月以内に修正論文を提出すること。
5. 原稿の区別は次の通りとする。
  - 1) 総説：内外の最新の研究または、獣医臨床腫瘍学に関する知識などを総合してまとめたもので、できるだけ解説的な内容の論文（依頼原稿）。刷り上がりは8頁以内、図表を含む。
  - 2) 原著および短報：原著では刷り上がり8頁以内、図表を含む。短報では刷り上がり6頁以内、図表を含む。
  - 3) 技術講座：獣医臨床腫瘍学の技術並びに知識について各論的な解説をした論文（依頼原稿）
  - 4) 会報、その他
6. 論文は以下の様式に従って作成する。図表類は本文とは別とし、表題と図表番号を記入し、本文中の挿入場所を指定すること。また原著の図表類の表題、説明、図表番号などは英語論文においては英文、その他については英文あるいは和文とする。  
本文：投稿原稿はWord（またはテキスト）およびそのファイルをPDF化した2つのファイルを送付する。標準的なフォント(英文はTimes New Roman, Century, Helvetica, Symbolなど、和文はMS明朝、MSゴシックなど)を使用する。  
A4判用紙に横書きとし、新かなづかい、当用漢字によってタイプ書きする。本文はダブルスペース（1ページ、24～26行、1行70字程度）でタイプし、上下左右に十分な余白をとる。改行は1文字あけて書き出す。  
  
表：マイクロソフト社のExcelでの作製を推奨する。  
図：図はTIFFファイルとする。印刷原稿の解像度として、雑誌掲載時のサイズ（横77mmか160mm）で、白黒は1200dpi、グレースケールとカラーは300dpiを必要とする。
7. 原稿の第1ページには投稿区分（原著、短報等）、和文表題、著者名、英文表題、英文著者名（英文原稿では順が逆になる）、**|**を記入する。  
ついで、下半分に著者の所属機関および所在地（郵便番号を含む）を和文、英文で記入する。さらに連絡先として、**担当著者**名および所在地と、電話・ファックス番号、Eメールアドレスを明記する。  
第2ページには英文Abstract（原著約200語、短報約100語）とKey word（英語）（原著、短報とも5語以内、ABC順で全て小文字）を記入する。  
第3ページ以降は、原著では、「はじめに、材料と方法、成績、考察、参考文献」の順に記載する。  
短報では参考文献を除いてこのように項目分けをしない。また英文原稿においては原著、短報ともに最後に和文要約（200字程度）を記載すること。総説、技術講座等ではこのような様式をとる必要はない。
8. 外国の人名、地名などはもとの綴りのままとする。  
動植物名などの学名は片仮名で記載し、その学名はイタリックとして下線を引きこれを示すこと。
9. 略字を使用するときは、論文中にはじめて使用するときに完全な語を掲げ、そのあとに略字を括弧で括って提示する。
10. 数字は算用数字を用い、単位および略語は原則として下記の例に従う。  
M, mM, μM, N, %, m, cm, mm, μm, nm, pm, cm<sup>2</sup>, cm<sup>3</sup>, l, ml, μl, kg, g, mg, μg, ng,

改訂後、加筆↓

または連絡責任者

改訂後、加筆↓

共著者のEメールアドレス

改訂後、加筆↓

連絡責任者

pg, hr, min, sec, msec, rpm, Gy, cGyなどとし、特殊な単位を用いる場合は必ず簡単な説明を加えること。

改訂後、加筆↓

### 11. 引用文献は下記にしたがって記載する。

著者名はアルファベット順に配列し、論文中の引用箇所はその番号を[1]、[3-5,7]のように記載する。著者名は全員を記載する。なお、同一著者の複数の論文を引用する場合は年代の新しい順に記載する。

1) 雑誌の場合：「著者(年号)：表題、雑誌名、巻、始頁～終頁。」

例1. 佐々木伸雄, 周藤行則, 田原秀樹, 竹内 啓(1987)：高齢犬の肺癌症例に対するエンフルレン麻酔の一例。 獣医麻酔 18(2):7-10.

例2. Azar, I. and Ozemek, E. (1973)：The use of ketamine for abdominal tubaligation. Anesth. Analg. 52：39-42.

例3. Cohen, R.B. and Tilley, L.P. (佐々木伸雄訳)(1980)：麻酔下における不整脈。 Vet. Clin. North Am. (日本語版) 9(2)：11-20.

2) 単行本の場合：「著者(発行年)：単行本名、第何版、引用した部分の始頁～終頁、出版社、出版社の所在地。」

例1. 太中 弘(1971)：外科の救急。各科救急処置の実際 (太中 弘, 赤井知雄編), pp.97-217. 南山堂, 東京.

例2. Hall, L.W. (1971)：Veterinary Anesthesia and Analgesia, 7th ed., pp.201-202.. B. Tindall, London.

例3. Smithcors, J.F. (1971)：History of veterinary anesthesia. In：Textbook of Veterinary Anesthesia (Soma, L.R.ed.), pp.1-23. Williams & Wilkins, Baltimore.

3) 「日本獣医がん学会雑誌」への投稿論文は、図表を含む本文の内容について、紙媒体およびインターネット等の電子媒体を含め、いかなる形式の媒体からの無断引用・無断転載・無断改変はないこと。その事実には著者は全ての責任を持つこと。

数詞は時間や単位つきの場合は数字表記でよい。  
名詞の数として書かれている場合は慣用的には1-9はスペルを書き、10以上は数字とする。

### 12. 著者校正は初稿のみとし、その際新たな追加変更は許されない。

校正刷りは受け取り後5日以内に校正して返信すること。  
期限に遅れた場合は編集委員会の校正をもって校了とすることがある。

改訂後、加筆↓

においても掲載済み、あるいは掲載予定等はないこと、いかなる形式の媒体

### 13. また下記の内容は著者負担とする。

1) 本規定5の制限頁数を超過したとき

2) 別刷の印刷代

3) 編集委員会で必要と認めた場合の英文校閲料など

4) 論文の印刷に際して編集委員会が著者原因が製版に不相当と認めた場合のトレース代等

5) 引用・転載・改変等の確認に関する調査および許諾

改訂後、加筆↓

または連絡責任者

### 14. 本誌に掲載された論文の著作権は、日本獣医がん学会に属する。

改訂後、加筆↓

紙媒体および電子媒体等媒体形式を問わず、公開方法について、その権利を日本獣医がん学会に移譲されるものとする。

### 15. 原稿および投稿承諾書の送信、投稿に関する照会は下記宛てとする。

〒180-8602 東京都武蔵野市境南町1-7-1

日本獣医生命科学大学獣医放射線学教室内

日本獣医がん学会雑誌編集委員会 (委員長：藤田道郎)

E-mail：journal@jvc.jp

### 16. 著者負担金(本規定13)は所定の口座に振り込むこととする。

お問合せ先

日本獣医がん学会事務局

E-mail：office@jvc.jp

TEL：090-7848-2959